

報道関係各位

2026年7月1日

産業技術総合研究所のディープテック人材育成事業 「覚醒プロジェクト」令和8年度の採択者が決定

AI、生命工学、材料・化学、量子の4領域から23件の研究テーマを採択
若手人材が社会課題解決に挑む研究開発を伴走支援

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）のディープテック人材育成事業「覚醒プロジェクト」において、令和8年度（2026年度）の研究開発テーマ23件が採択されたことをお知らせします。

角川アスキー総合研究所は、2023年度の本プロジェクトの創設時から事務局運営業務を受託し、本事業の運営を担ってきました。4年目となる本年度も、採択された研究開発が将来的な社会実装や社会課題の解決につながるよう、事務局運営を通じて本事業を支援してまいります。



■「覚醒プロジェクト」について

「覚醒プロジェクト」は、産総研が保有する先端的な研究設備を若手人材が活用し、ディープテック分野における独創的かつ斬新な研究開発を推進することで、社会課題解決に挑むプロジェクトです。

2026年度は、AI、生命工学、材料・化学、量子の4つの研究領域を対象に、若手研究者による独創的かつ斬新な研究開発テーマを募集し厳正な審査の結果、23件の研究テーマを採択しました。

採択されたテーマの研究実施者は、本事業のプロジェクトマネージャー（PM）やスーパーバイザー（SV）、産総研の受入研究者による伴走支援、1研究テーマあたり300万円の事業費支援、産総研が保有する最先端研究環境の無償利用、採択者や経験豊富な支援人材とのネットワーク形成支援などを受けられます。研究開発期間は、2026年7月1日から2027年3月31日までです。

■採択された研究実施者、研究テーマ、担当PM、産総研受入担当者（敬称略）

研究実施者	所属	研究テーマ	担当PM	受入研究者
池上 桃花	駒澤大学大学院	前向きに終わる会話のために：ギャルマインドを介する原理とするハイコンテキスト対話支援システム	大西 正輝	大西 正輝
三浦 千哲	東京大学大学院	引用ネットワークの情報圧縮による研究評価バイアスの検出と補正		
伴 玲吾	東京大学大学院	複数 AI エージェントの並列稼働における心理的負荷の解明と軽減インタラクションの実現	牛久 祥孝	蔵田 武志
浅野 輝	東京大学大学院	反実仮想推論と弱教師あり学習による自己進化 LLM の開発		唐木田 亮
平塚 謙良	京都大学大学院	主体性を備えるロボット基盤モデルの開発	金崎 朝子	堂前 幸康
山崎 遼也	一橋大学	新たな学習パラダイム「学習進度平滑化」の創出		唐木田 亮
辻 知希	株式会社 Iktos Labs	AI 駆動型サイバー攻撃の無力化を目指す攪乱防御技術の研究	谷中 瞳	大西 正輝
大森 功太郎	東京大学大学院	専門家の思考過程をデータ化するインタフェースと身体技能指導 AI の開発		高村 大也
宮川 創	筑波大学	未解読言語メロエ語の AI 解読——デジタルコーパス構築・構成的言語モデリング・ヌビア諸語比較言語学による計算的アプローチ	井本 桂右	高村 大也
堤 歩斗	東京都立大学大学院	Speech LLM を応用した話者属性付き音声理解の研究		坂東 宜昭
浅野 颯太	東京大学大学院	データ駆動型分子設計による分泌型 IgA 抗体の胃内分解耐性最適化	阿部 敬悦	渡邊 秀樹
山本 圭太	東京大学大学院	Collateral Activity 強化型 CRISPR/Cas13 の開発		加藤 義雄
酒井 俊輔	国立がん研究センター	がん治療薬の効果を予測する細胞間相互作用シミュレータ開発	瀬々 潤	川田 健太郎
植田 大海	北里大学大学院	量子・AI 支援タンパク質デザインの実用化に向けた、高精度バイナリ符号化手法の開発		渡邊 秀樹
浦 朋人	筑波大学	タンパク質安定化条件の提案を加速する凝集エミュレータの開発	木下 聖子	南木 創
川久保 修佑	東京大学医科学研究所	コロナウイルス科の動的配列分類基盤の構築と未分類ウイルスの発掘		古賀 隆一
長谷部 颯汰	東京大学大学院	機械学習原子間ポテンシャルと自律実験の統合による Li-M-F 系固体電解質の創出	谷池 俊明	清水 康司
二荒 耀	東京理科大学大学院	遷移金属触媒とシランを用いたアシルホスフィンのアルキルホスフィンへの還元		永縄 友規
岩崎 瑛大	九州大学大学院	多糖ナノファイバー足場界面の制御による細胞接着メカニズムの解明	長藤 圭介	熊谷 明夫
山田 翔太	東京理科大学大学院	ICT 型蛍光プローブと画像解析を用いた高分子流体中の水分子の局所偏在および流動挙動の可視化システムの開発		武仲 能子
柳山 鏡	北陸先端科学技術大学院大学	メタノール生成を指向した高圧メタン転換用ゼオライト触媒のデータ駆動型設計基盤の創出	西堀 麻衣子	中村 功
桂 章皓	京都工芸繊維大学大学院	多孔質グラフェンと金属酸化物薄膜を複合したガスセンサの表面反応および伝導機構の解明		森本 崇宏
須田 浩平	東京大学大学院	DAQC による量子誤り訂正シンドローム抽出の低深度化と hook error の排除	藤巻 朗	柿崎 武、 滝澤 真一朗

■スーパーバイザー（SV）とプロジェクトマネージャー（PM）（敬称略）

SV

AI領域：松原 仁（京都橘大学 工学部ロボティクス学科 大学院情報学研究科 教授）

SV兼PM

AI領域：大西 正輝（産総研 人工知能研究センター 社会知能研究チーム 研究チーム長）

PM

AI領域：牛久 祥孝（株式会社NexaScience 代表取締役）

AI領域：金崎 朝子（東北大学 大学院情報科学研究科 教授（国際卓越教授））

AI領域：谷中 瞳（東京大学大学院 情報理工学系研究科 准教授（卓越研究員））

AI領域：井本 桂右（京都大学大学院 情報学研究科 准教授）

生命工学領域：阿部 敬悦（東北大学大学院 農学研究科 教授）

生命工学領域：瀬々 潤（株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長）

生命工学領域：木下 聖子（創価大学 糖鎖生命システム融合研究所 副所長・教授）

材料・化学領域：谷池 俊明（北陸先端科学技術大学院大学 教授）

材料・化学領域：長藤 圭介（東京大学 大学院工学系研究科 教授）

材料・化学領域：西堀 麻衣子（東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授）

量子領域：藤巻 朗（名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授）

■産業技術総合研究所 受入研究者（敬称略）

AI領域：蔵田 武志（人間社会拡張研究部門）

AI領域：唐木田 亮（人工知能研究センター 機械学習研究チーム）

AI領域：堂前 幸康（人工知能研究センター 実体知能研究チーム）

AI領域：高村 大也（人工知能研究センター 言語情報研究チーム）

AI領域：坂東 宜昭（人工知能研究センター 社会知能研究チーム）

生命工学領域：渡邊 秀樹（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオシステムデザイン研究グループ）

生命工学領域：加藤 義雄（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオ構造活性相関研究グループ）

生命工学領域：川田 健太郎（セルフケア実装研究センター 生理機能・データ解析研究チーム）

生命工学領域：南木 創（健康医工学研究部門 ナノバイオデバイス研究グループ）

生命工学領域：古賀 隆一（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオシステム多様性研究グループ）

材料・化学領域：清水 康司（マテリアルDX研究センター 第一原理材料設計研究チーム）

材料・化学領域：永縄 友規（化学プロセス研究部門 環境調和プロセス研究グループ）

材料・化学領域：熊谷 明夫（機能化学研究部門 セルロース材料研究グループ）

材料・化学領域：武仲 能子（機能化学研究部門 高分子化学研究グループ）

材料・化学領域：中村 功（化学プロセス研究部門 固体触媒プロセス研究グループ）

材料・化学領域：森本 崇宏（ナノカーボン材料研究部門 ナノデバイス・評価研究グループ）

量子領域：柿崎 武（量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター 量子・AIクラウド研究チーム）

量子領域：滝澤 真一郎（量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター 量子・AIクラウド研究チーム）

本事業の詳細は、覚醒プロジェクト公式サイトをご覧ください

<https://kakusei.aist.go.jp/r8/>

本件に関する法人・団体からのお問い合わせ先

覚醒プロジェクトサポート事務局：kakusei_support@lab-kadokawa.com

■ディープテックとは

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術です。（出典：経済産業省産業技術環境局「ディープテック・スタートアップ支援事業について」）

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁などお客様の課題解決に取り組んでいます。

事業内容：

メディア運営、調査・コンサルティング、各種マーケティング、ソリューション事業、出版、教育支援事業ほか

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当：堀

press-cp@lab-kadokawa.com